

# Labo News

## らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会  
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17  
 花車ビル南館 〒450-0002  
 電話 052-581-1013  
 F A X 052-586-5680  
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>  
 Eメール [aamt@aichi-amt.or.jp](mailto:aamt@aichi-amt.or.jp)  
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店  
 普通口座731-677  
 発行人 梶山広美  
 編集人 山田 真

## No.412 目次

- ◆第17回愛知県医学検査学会を終えて … (2)
- ◆平成28年度  
『禁煙週間』及び『歯と口の健康週間』に  
おける街頭キャンペーン活動報告 …… (4)
- ◆熊本災害支援に参加して …… (5)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会  
通信 (第42回) …… (6)

## 愛臨技総務部門の近況報告と平成28年度の取り組み

総務部門担当副会長 藤田 孝

総務部門は庶務部と会計部から構成されております。総務部門(庶務部および会計部)の定例業務として、会員および会員施設の掌握、文書管理、総会開催に関する準備、理事会等会議の準備と議事録管理、表彰関係業務、各部や地区の会計処理、予算書類や決算書類の作成・管理など、当会が公益法人として活動するうえでの基礎となる業務を行っております。

平成27年度は、法人立ち入り調査や役員選挙、事務員の交代など、かつて経験したことのない出来事がありましたが、会員のみなさまをはじめ、関係各位のご協力により滞りなく無事乗り越えることができました。感謝申し上げます。

さて、当会活動の根幹である会員数は、昨年から飛躍的に増加しております。一昨年までの十数年間、当会の会員数は年間30名から90名程度の増加を続けて参りました。平成27年度は200名を超える増加となり、平成28年度に入ってから、昨年度を超えるペースで増加し続けており、間もなく3,100名を超えることが予測されます。これは、検体採取の講習会による影響もありますが、組織部による学生への入会案内、そして、従来より他県会員の当会学術活動や渉外活動への参加希望が多く、近隣各県の会員にとっては当会の活動が他県会員にとって魅力的であることが、この会員数増加を裏付けていると言えます。総務部門におきましては、学術部門、渉外部門の更なる活発な活動を経理面などの側面から支えるとともに、公益法人としての公益性、社会性とのバランスを取りながら、事業活動を進めて行きたいと考えております。

最後になりますが、当会は、昭和62年に法人格を取得し、このたび、平成29年に法人設立30周年を迎えます。会員のみなさまの足跡を祝し、また今後の更なる発展を祈念して、記念式典および記念講演会を本年10月に開催いたします。多くのみなさまにご参加いただきたいと思います。

今後とも会員の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

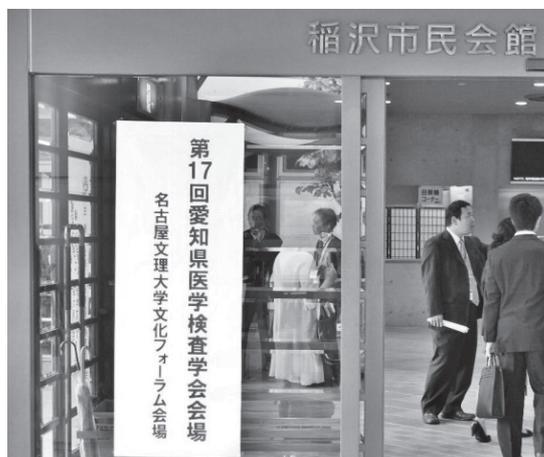
# 第17回 愛知県医学検査学会を終えて

学会長 堀出 剛

第17回愛知県医学検査学会は、尾張西地区が担当し名古屋文理大学文化フォーラムならびに稲沢市民病院で開催しました。学会テーマは、「目指せ！本物のスペシャリスト」サブテーマを～チーム検査室～と題して開催いたしました。

梅雨時の6月の開催となりましたので、どうしても気になるのは、当日のお天気。1週間前から天気ばかり気にして、インターネットの天気予報ばかり見ておりました。ネット情報では、天気は上々、晴れマークのオンパレードです。交通整理など外回りのスタッフの暑さ対策にスポーツドリンクを用意しなければ、などと企画委員会では、熱中症対策にも熱が入ります。暑さ対策を講じていた矢先、開催日の午前中のみ雨という天気転じてしまい参加いただいた皆様には、たいへんご不便をおかけしました。理由は、しごく簡単で、私が元来、雨男であることを忘れていたことに相成ります。

足元の悪い中での開催となりましたが、それにもまして719名の会員、賛助会員の皆様にご参加いただいたことに加え、午後の公開講演におきましては、学生や一般市民の方々48名にもお越しいただき、盛況な開催となりました。



## 【一般演題】

一般演題は、54演題の発表が行われ、文化フォーラムに隣接する稲沢市民病院の講堂と会議室もお借りして5会場で行いました。各々の発表に対して活発な質疑応答がなされました。



## 【ランチョンセミナー】

ランチョンセミナーは6社の協賛をいただき、検査の有用性やピットフォール、次世代の検査などについて講演いただきました。

## 【公開講演】

福井新聞社特別参与の五十嵐利幸様をお迎えして、臓器提供を行った家族の思いをご講演いただきました。脳死下で決断した妻のケースについて、当時の心情など語っていただき、今後の臓器移植推進の輪を広げてほしいと結ばれました。

## 【シンポジウム】

学会メインテーマを題材に「スペシャリストと呼ばれる技師は、何をすべきなのか」のテーマを掲げ、舟橋座長の進行のもと、3組のシンポジストとナビゲータから、①担当以外の検査の重要性、②症例追求の重要性、③臨床貢献の確認について、熱く熱く語られました。

認定資格、職場での技師教育、仕事のモチベーション、施設における弱点や強み、アクティビティ展開の重要性など多岐に渡り論議されました。総括の山口技師から全体を見ることが出来る視野の広さが大切であると結ばれ、たいへん内容の濃いシンポジウムとなりました。



## 【懇親会】

学会終了後は、愛臨技主催の祝賀会、懇親会が開催され158名の皆様にお越しいただきました。賛助会員、会員、講師の方々の参加に余興のバンド演奏も加わり、楽しいひと時を過ごすことができました。

最後になりましたが、当学会の開催にあたり、ご後援いただきました愛知県、愛知県医師会、愛知県病院協会、稲沢市をはじめ、学会協賛、ランチョンセミナー、広告協賛、機器展示としてご協力をいただきました関連企業、賛助会員の皆様方に感謝申し上げます。また、学会運営にご尽力いただきました実行委員、実務委員の皆様には心より感謝申し上げます。

支えていただいた役員の皆様には、たいへんなご負担をおかけしましたが、不備のない運営とその企画力に感服いたしました。まさに企画運営のスペシャリストの方々でした。





# 平成28年度『禁煙週間』及び『歯と口の健康週間』における街頭キャンペーン活動報告

広報部 山田 真

平成28年5月31日（火）午後12時30分から約1時間、「禁煙週間」及び「歯と口の健康週間」の呼びかけ、啓発資材の配布により、県民に対する喫煙の健康影響と歯の健康づくりについての知識普及を図ることを目的にナナちゃん人形北側で街頭活動が行われました。

本年の

## 禁煙週間のテーマ

### 厚生労働省

「2020年、受動喫煙のない社会を目指して  
～たばこの煙から子ども達をまもろう～」

## 歯と口の健康週間のテーマ

「健康も 楽しい食事も いい歯から」

主催は、愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課で他に（公社）愛知県医師会、（一社）愛知県歯科医師会、（一社）愛知県薬剤師会、（一社）名古屋市薬剤師会、（公社）愛知県臨床検査技師会、（公社）

愛知県歯科衛生士会、愛知県小中学校長会、（公財）愛知県健康づくり振興事業団、健康保険組合連合会愛知連合会、全国健康保険協会愛知支部、（公社）愛知労働基準協会、（公社）愛知県看護協会の計12団体が協力し参加者60名ほど当技師会からは4名が参加しました。

本年の活動はビルの柱1スパン分と昨年に比べ狭い範囲に設定されたため、1列が10から15人程度で3列に並び1列は道路側、残りの2列はビル下の通路に歩行者を挟むような形で配布啓発活動を行いました。そのため例年になく個々が多くの啓発物品を持っていました。

技師会はこのような活動に積極的に関与し、県民の健康増進に一役買うと同時に臨床検査技師の認知度にお繋がりますので、会員の皆様も是非ご参加頂きますようお願い致します。



2016年6月10日現在 正会員数 3,106名



※求人情報、理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。

## お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。  
会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。  
申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

# 熊本災害支援に参加して

豊田厚生病院 迫 欣二

これまで各地で起きた様々な災害に対して募金を行うことくらいしかできませんでしたが、今回は日臨技が募集した熊本被災地支援事業に初めて参加しました。当初の計画では熊本市内避難所を中心とした大規模なDVT健診のみの予定でしたが、阿蘇医療センターより日臨技に応援要請があり、私を含めた3名はこちらに派遣されることとなりました。阿蘇医療センターは臨床検査技師4名の地域の中核病院で、隣に隣接した小学校体育館が地域の避難所であったことや、地域の医療機関がほぼ壊滅状態であったこともあって、震災直後から4名の臨床検査技師もほとんど自宅にも帰れず、検査室のベッドで仮眠をとりながらの連続勤務となっていました。患者数はピーク時から比べれば落ち着いてきたものの、救急外来には体調不良の地域住民が昼夜を問わず次々訪れ、各地から派遣された多数のDMAT、JMAT

支援チームが診療にあたっていました。実際の我々の業務内容は生化学、免疫、血液、凝固、一般、微生物等通常の緊急検査項目程度でしたが、余震や停電が繰り返し起きるといった厳しい環境下での24時間勤務でした。途中東京都のJMATチームの臨床検査技師とも合流して4名体制の支援となりましたが、いずれのメンバーも被災地支援活動は初めてで、それぞれの専門も3名が病理、1名が血液と緊急検査支援にはいささか不安なチームではありましたが、4名の力を合わせて無事任務を果たすことができました。この被災地での貴重な経験をもとに、自施設、または地域の防災体制見直しに貢献していきたいと考えています。最後に今回の震災による犠牲者のご冥福と、一日も早い熊本の復興をお祈りいたします。



阿蘇医療センター 奥に見える阿蘇の山並みには亀裂が多数みられる



今回支援に参加したスタッフと阿蘇医療センター高村技師長（中央）



迂回路の崩落を応急修復したところ

# AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

## 通信 (第42回)

愛知県臨床検査標準化協議会 (Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS) は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発刊された刊行物、「輸血検査における標準手順書 第2版」についてご紹介いたします。

医療機関にとって、医療事故を防止する安全対策は、ますます重要となっています。輸血療法は、輸血過誤を未然に防ぐために輸血検査の安全性と質の向上が必要です。そのため、第1版から質の向上を目的として、第2版のガイドラインを作成しました、是非ご活用ください。今回は“抗体価測定”を抜粋しました。

詳しい内容、購入方法については、公益社団法人 愛知県臨床検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS : 愛知県臨床検査標準化協議会)

### IV 抗体価測定

#### 1. 測定

